災害時の効果発揮事例

要:令和6年7月25日からの大雨において、5か年加速化対策によって整備した治山ダムにより、山腹崩壊を未然 概

に防止する事前防災効果を発揮し、下流域の鉄道や道路の安全の確保に寄与した。

対 策 名:3 山地災害危険地区等における治山対策<5か年加速化対策>【農林水産省】

■ 実施主体:林野庁東北森林管理局

実施場所:秋田県湯沢市

事業概要:山地災害発生リスクの高い地区における

治山対策の実施(治山ダムの設置)

事業費:約7.600万円

主な事業	実施内容	事業費	実施期間
復旧治山事業	治山ダム	約7,600万円	R3∼R4
うち5か年加速化対策	治山ダム	約7,600万円	R3∼R4

■ 災害の外力、被害と効果:

令和6年7月25日からの大雨により、秋 田県湯沢市では24時間雨量207mm、1 時間最大雨量39mmを観測し、秋田県に おいては多数の山地災害が発生した。

湯沢市の国有林においては、治山ダム (谷止工)が山脚固定機能※を発揮し、 山腹崩壊による林地荒廃及び崩壊に伴 う土砂流出による下流域の鉄道や道路 への被害を未然に防止した。

同施設は、設置以降、施設上流側への 堆砂による土砂流出抑制機能を発揮し ており、今後も継続的に事前防災効果を 発揮していく見込み。



治山対策直後の状況(R4)

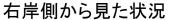


下流側から見た状況

上流側から見た状況

山脚固定機能発揮状況(R6)







上流側から見た状況

山脚固定機能が発揮されたことにより、地盤が安定し、植生が繁茂している。 治山ダム上流側へ土砂が堆積し、土砂流出抑制機能を発揮している。

※山腹斜面の脚に当たる部分を固定して、崩壊の発生等を防止する機能